

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2023年2月3日

事業所名:ナインカレッジ

サービス種類:(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法廷に順守したスペースを確保しています。必要に応じてパーティションを使用し空間を区切っています。	はい:25人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:2人	今後もパーティションを用いたり工夫しながら状況に合わせた空間の確保を行っていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づいて人員を配置しています。	はい:17人 どちらともいえない:2人 いいえ:0人 わからない:8人 ・もう少し職員がいた方が良いのでは?	支援に必要な人員配置の確保に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	パーティションでの空間確保をしています。また、視界に入るものを減らし、余計な情報が入らないようにしています。	はい:21人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:6人	今後も子どもたちの特性に合わせて環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃・消毒をこまめに行っています。プログラムで使用するパソコン等は毎回子どもたち自身に拭き取りをお願いしています。	はい:24人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:3人	引き続き清掃や消毒・整理整頓を行い、心地よく過ごせるよう配慮します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の打ち合わせや、定期的なミーティングをとおして情報共有や意見を出し合い支援につなげています。	/	今後も定期的な情報共有・課題検討の場を設け、業務改善に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価を受けていません。	/	検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修や外部研修に参加しています。	/	今後も研修の参加機会を確保し職員のスキルアップにつとめます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回面談やモニタリング面談では、保護者や児童の思いを聞き入れ、放課後等デイサービス計画を作成しています。	/	今後も適切な支援のために、アセスメントと計画の作成を行います。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々のニーズに合わせて個別支援・集団支援について検討し計画を立てています。	はい:27人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	今後も継続しながら、子どもたちの状況に合わせた個別活動・集団活動を行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	総合的な課題や長期目標・短期目標、具体的な支援内容について、プログラム内容をふまえながらわかりやすい内容で記載するように努めています。	/	今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援会議を通して職員間で計画内容を共有し、支援計画に基づいて日々の支援を検討・実施しています。	はい:27人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	適切な支援が行えるよう今後も職員間での話し合い・支援についての共通認識を深めていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的なミーティングにてプログラム内容について確認・調整を行い、児童の発達・スキルの向上に向けた活動を実施しています。	はい:26人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:0人	今後もプログラムの改善を行い、よりよい支援が出来るように立案していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と休日・長期休暇それぞれ異なるスケジュールにてプログラムを実施しています。長期休暇中には、コロナ感染対策をしながら可能な範囲内で子どもたちの楽しめるイベントを設定しています。	・夏休みの施設見学や、職場見学等ができるのは、いつもと違った体験ができて喜んでいきます。 ・レベルアップしている子どもが退屈しないように考えてほしい。	休日や長期休暇を利用したプログラム内容の充実化に向けて検討していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	パソコンを使った活動や作業トレーニング、SSTなど日々異なるプログラムを提供しています。		プログラムが固定化しないように工夫をしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝当日の利用児やプログラム内容・役割分担・個別の配慮についての確認を行っています。		継続して役割分担や支援内容の確認を行います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動への取り組み状況や気付きを記録し、職員間で共有しています。		日々の活動への振り返りの時間を設けていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録に日々の活動・支援内容について記録し、ミーティングや個別支援会議にて課題や改善点について話し合っています。		今後も日々記録を作成し振り返りや検討の場を設けていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行い、課題の分析や計画の見直しを行っています。		今後も定期的にモニタリング・支援計画の見直しを行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	統一した支援が行われるよう、児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に積極的に参加しています。	サービス担当者会議が開催される時には積極的に参加します。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	移行先の事業所から支援内容等について情報提供を求められた際には、利用児の様子や支援状況をお伝えしています。	今後も必要に応じて行っていきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関からの案内があった場合には、適宜参加しています。	積極的に研修への参加を推進していきます。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施できていません。	はい:6人 どちらともいえない:0人 いいえ:7人 わからない:11人 未回答:3人	必要に応じて、交流機会の確保について考えていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施できていません。	・事業所の特性から、それは必要ないと思っています。	地域との交流について、事業所としてできることについて検討していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	ご契約時に重要事項説明書を読みながら支援内容や利用者負担について説明しています。	はい:26人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:0人	支援内容、利用者負担等について丁寧に説明していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	最低半年に一度支援計画の見直しを行い、保護者の方へ説明をし承認をいただいています。	はい:26人 いいえ:0人 どちらともいえない:1人 わからない:0人	今後も継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレントトレーニングは実施できていませんが、個別の相談があった際にはできる限りの対応をしています。	はい:10人 いいえ:6人 どちらともいえない:1人 わからない:10人	実施について検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時にご様子をお伝えしたり、情報共有をしています。	はい:21人 いいえ:0人 どちらともいえない:6人 わからない:0人 ・感情のコントロールについては、特に気にかかることがあれば連絡ノートやLINE等で情報を共有している。	今後も継続しつつ、より良い情報共有できる方法を検討していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	信頼関係の構築に努めています。、寄り添い解決に向けた方法を一緒に考えています。	はい:25人 いいえ:0人 未回答:1人 どちらともいえない:1人 わからない:0人	今後も信頼関係の構築に努め、寄り添いながら問題解決に向けて取り組んでいきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施できていません。	はい:5人 いいえ:8人 どちらともいえない:5人 わからない:9人	状況を見ながら、保護者会の実施に向けて検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があれば、原因や改善点について職員間で話し合い、対応をしています。	はい:12人 いいえ:0人 未回答:7人 どちらともいえない:1人 わからない:7人	苦情があった際には迅速で丁寧な対応を行えるよう体制を整えます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に応じて書面での伝達や視覚的な手段を用いて意思疎通を行っています。	はい:18人 いいえ:0人 未回答:7人 どちらともいえない:2人 わからない:0人	継続して意思疎通のための様々な方法を考えていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	公式ラインやインスタグラム、ブログの更新・月に1度のお便りの発行で、プログラムの内容や子供の様子についてお伝えしています。	はい:20人 いいえ:0人 未回答:7人 どちらともいえない:0人 わからない:0人	今後も継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意書を書いていただいています。	はい:18人 いいえ:0人 未回答:7人 どちらともいえない:0人 わからない:2人	継続して個人情報の取り扱いは慎重に行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成しています。	はい:14人 いいえ:0人 未回答:7人 どちらともいえない:1人 わからない:5人	保護者への発信・周知徹底の方法について検討し、取り組んでいきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回、災害を想定した避難訓練や防災センターでの体験を行っています。	はい:15人 いいえ:1人 未回答:7人 どちらともいえない:0人 わからない:4人	引き続き災害や防災についての意識向上を図り、訓練を実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを作成しています。組織内で虐待防止委員会を設置して活動しており、外部の虐待研修への参加を行っています。		継続して職員間で虐待防止意識の向上を図っていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	これまで身体拘束が必要な事例はありません。		必要時には、保護者への説明・計画への記載を行っていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントシートにてアレルギーの有無を確認しています。		イベントなどで食事の機会がある場合には、その都度保護者への確認を行います。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった場合にはその都度報告書を作成し、対策について話し合っています。		少しでもヒヤリと感じたら作成し、スタッフ皆で共有し、改善に向けて対応していきます。